

---

# 平成26年度予算第二特別委員会質問要旨

---

○ 局別審査

平成26年3月12日

質問者（質問順）

- 1 大貫憲夫委員（共産党）
- 2 関勝則委員（自民党）
- 3 源波正保委員（公明党）
- 4 今野典人委員（民主党）
- 5 豊田有希委員（結ぶ会）
- 6 小幡正雄委員（ヨコ会）
- 7 大桑正貴委員（みんな）

財政局

# 局 別 審 査

## 1 大 貫 憲 夫 委 員 ( 共 産 党 )

### 1 平成26年度予算案の基本的考えについて

- (1) 長期的な財政見通しの内容について伺いたい。
  - (2) 人口が減少する中で、財政的な見通しも人口に沿って減少すると考えるが、見解を伺いたい。
  - (3) 過去5年間における税収に占める個人市民税の割合について伺いたい。
  - (4) 過去5年間における税収に占める法人市民税の割合について伺いたい。
  - (5) 本市の将来人口を高位推計に近づけるための予算の組み方が必要だと考えるが、見解を伺いたい。
  - (6) 本市の将来人口を高位推計に近づけるためには、高齢者福祉や子育て支援などの施策を予算に反映させることが必要と考えるが、見解を伺いたい。
  - (7) 生産年齢人口の市外流出状況を把握し、対応することが必要と考えるが、見解を伺いたい。
  - (8) 生産年齢人口の定着につなげるためには、待機児童対策だけでなく、小児医療費助成、少人数学級及び中学校給食などに、より力を入れるべきと考えるが、見解を伺いたい。
  - (9) 財政局として個人所得を増やす施策を考えているのか伺いたい。
  - (10) 財政局の役割として、個人市民税の税収を増やすためにも、賃金の下限額を規定する公契約条例を制定すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 公契約条例を制定することを要望する。

## 2 関 勝 則 委員（自民党）

### 1 平成26年度予算編成について

- (1) 予算編成を振り返った所感について伺いたい。
  - (2) 「債務返済指数」に関する外部有識者の意見について伺いたい。
  - (3) 予算編成における市長判断をより支えていく視点から、財政局の関わり方を強め、予算編成手法を強化していくことも必要と考えるが、見解を伺いたい。
  - (4) 財政の健全性を維持しながら、施策の推進を図っていくことへの副市長の決意を伺いたい。
- (要望) 持続可能な財政運営は、市民や市内事業者が求める施策を進める上で土台となる大変重要なものであるため、全力で取り組んでもらうことを要望する。

### 2 横浜みどり税の周知について

- (1) 26年度における横浜みどり税の広報の取組について伺いたい。
  - (2) 横浜みどり税に対する一層の市民理解を得るためには、横浜みどりアップ計画と併せて周知を図ることが必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) みどり税は、市民の皆様からお預かりする大切な税金である。しっかりと市民にその事業効果を実感してもらえような努力を続けていくことを要望する。

### 3 保有資産の有効活用について

- (1) 市有地公募売却事業における25年度の売却実績及び総括並びに今後の事業展開について伺いたい。
- (要望) 今後も不動産市場の活性化に資するよう、積極的な公募売却に取り組んでいくことを要望する。
- (2) 大規模市有地の有効活用の進め方について伺いたい。
  - (3) 資産活用において市内事業者の活用や参入機会の拡大に取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 市内事業者も広く参画しながら資産活用が推進されることにより、財源確保、市民満足度の向上、及び市内経済の活性化が達成できるよう、引き続き全市的な取組を進めていくことを要望する。

#### 4 公共建築物のマネジメントについて

- (1) 26年度に実施する調査・研究の内容について伺いたい。
- (2) 「公共建築物マネジメントの考え方」の内容について伺いたい。
- (3) 今後の取組において市民との丁寧な対話は欠かせないと考えるが、見解を伺いたい。

#### 5 市内建設業の活性化策について

- (1) 市内建設事業者の地域貢献評価におけるこれまでの取組と今後の展開について伺いたい。
  - (2) 総合評価落札方式において、市内建設業の活性化に資する評価項目を拡充すべきと考えるが、見解を伺いたい。
  - (3) 総合評価落札方式において、失格基準の引上げなど、低入札を抑制する仕組みが必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 市内建設業の活性化に向けた取組を積極的に進めていくことと併せて、実施した施策の効果を検証することを要望する。

### 3 源 波 正 保 委員（公明党）

#### 1 今後の財政運営について

- (1) 19年度決算における「債務返済指数」の試算値と直近の値との比較について伺いたい。
- (2) 本市の「債務返済指数」の計算式に当てはめた場合の名古屋市、大阪市及び川崎市の状況について伺いたい。
- (3) 「債務返済指数」を導入することで、本市の財政運営がどのように変わるのか。
- (4) 財政の健全性が維持されていることを確認するためには、様々な指標を多角的に捉えることが必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (5) 社会保障の充実・安定化に向けた消費税増収分の活用の考え方について伺いたい。
- (6) これまでの財政運営の取組に対する所感と今後の市債活用を含めた財政運営について伺いたい。

#### 2 入札・契約制度について

- (1) 本市発注工事における入札不調の発生件数と原因別内訳について伺いたい。
- (2) 入札参加者がいないことが入札不調の最も多い原因であることの理由について伺いたい。
- (3) 入札参加者がいないことに起因する入札不調への対策について伺いたい。
- (4) 最低制限価格の設定範囲を95%に引き上げることの考え方について伺いたい。
- (5) 最低制限価格の設定範囲を95%に引き上げることによる効果について伺いたい。

#### 3 適正経理の推進について

- (1) これまでの適正経理推進担当の取組について伺いたい。
- (2) 適正経理推進担当の取組による成果について伺いたい。

(3) 26年度以降の適正な経理事務の推進に向けた取組について伺いたい。

#### 4 平成26年度税制改正について

(1) 26年度税制改正における地方税部分の主な内容について伺いたい。

(2) 市税収入への影響が大きい改正項目について伺いたい。

(3) 法人市民税の税率引下げの内容について伺いたい。

(4) 税率引下げが行われる理由について伺いたい。

(5) 税率引下げによる法人への影響について伺いたい。

(6) 本市の法人市民税の税率について伺いたい。

(7) 地方法人課税の是正に関する国への主張内容について伺いたい。

(8) 地方法人課税の偏在是正のための地方税の国税化に対する所感について伺いたい。

(9) 地方法人課税の偏在是正に関する今後の国への働きかけについて伺いたい。

(10) 市税条例改正の進め方について伺いたい。

#### 5 個人住民税の特別徴収の推進について

(1) 本市の給与所得者における特別徴収の割合について伺いたい。

(2) 特別徴収制度の概要と事業を推進する目的について伺いたい。

(3) 神奈川県と県内市町村が協同して特別徴収を推進するねらいについて伺いたい。

(4) 今後の具体的な取組の進め方と目標について伺いたい。

(5) 目標達成時の増収効果額について伺いたい。

(要望) 特別徴収の推進について、制度周知など事業者への丁寧な説明を行いながらしっかりと取り組むことを要望する。

#### 4 今野典人委員（民主党）

##### 1 今後の財政運営について

- (1) 今後、物価高が見込まれる中での大規模公共工事の進め方について伺いたい。
- (2) 市債発行をどのようにコントロールしていくのか。

##### 2 公共建築物のマネジメントについて

- (1) 公共建築物の整備量が最も大きかった年度及びその床面積について伺いたい。
- (2) 将来の建替の課題に対応するには、財源確保策も含めた多様な検討が不可欠と考えるが、見解を伺いたい。

##### 3 労務単価改訂に伴う特例措置と公契約条例について

- (1) 下請企業へのヒアリングなど、直接下請企業へ調査を行うべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (2) 公契約条例に関する現在の検討状況について伺いたい。
- (3) 本市でも公契約条例に関して具体的な検討を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 公契約条例は賃金の安定及び消費の安定にもつながるため、前向きに取り組むことを要望する。

##### 4 未収債権整理促進の体制について

- (1) 税外債権回収担当の成果について伺いたい。
- (2) 税外債権回収担当を解消する理由について伺いたい。
- (3) 未収債権整理・縮減に向けた26年度以降の財政局の役割について伺いたい。
- (4) 未収債権整理・縮減に向けた今後の取組の考え方について伺いたい。
- (要望) 不納欠損を減らすため、細かな取組が重要である。新たな中期計画の策定にあたっては、未収債権の縮減が一層進展するようしっかり検討し、着実に取り組むことを要望する。

## 5 豊田有希委員（結ぶ会）

### 1 中長期的な財政の見通しについて

- (1) 「27年度収支見通しの機械的な試算」における「機械的な試算」の意味について伺いたい。  
(要望) 翌年度以降、「機械的な試算」ではない整理をすることを要望する。
- (2) 「長期的な財政見通し」の更新の進捗状況について伺いたい。
- (3) 新たな中期計画の策定に向けて、「長期的な財政見通し」をより精緻化したものに更新すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (4) 「長期的な財政見通し」の期間については、最低30年とし、市として統一的手法を持つべきと考えるが、見解を伺いたい。  
(要望) 「長期的な財政見通し」の期間を30年に見直すことを要望する。

### 2 資産の公正価値評価について

- (1) 公正価値評価を行うことの意義について伺いたい。
- (2) 公共建築物マネジメント白書における保全・更新費の将来推計と、減価償却分の累計に基づく更新費の将来推計について、それぞれの活用の考え方について伺いたい。
- (3) 今後建設を計画している公共施設については、保全・更新等に要する費用の将来推計額を現推計に逐次反映・公表すべきと考えるが、見解を伺いたい。  
(要望) 市庁舎のような大きな施設ができると保全費も多額になるので、逐次、全体の保全費の推計を行うことを要望する。

### 3 負債の公正価値評価について

- (1) 今後の公共施設の保全・更新にかかる財源確保の取組について伺いたい。
- (2) 今後、公共施設の保全・更新に関する所要額についてはあらかじめ積み立てる等の手立てを講じるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 横浜方式のプライマリー・バランスを中心としたこれまでの財政規律の考え方を変更すべきではないと考えるが、見解を伺いたい。

6 小幡正雄委員（ヨコ会）

1 「施策の推進」と「財政の健全性維持」の両立に向けた財政運営について

（1）市債発行と臨時財政対策債について

ア 臨時財政対策債の発行額が前年度比で50億円減っている理由について伺いたい。

イ 当初、3年間の時限的なものが13年間も継続され、廃止されない理由を明確にすべきと考える。また、臨時財政対策債は廃止されるべきと考えるが、見解を伺いたい。

ウ 臨時財政対策債は廃止されないが、どこかにその財源はあるのか。

（2）三セク債の利子負担の軽減のための工夫について伺いたい。

（3）財政の健全性維持を確保するための方策について伺いたい。

（4）実質公債費比率が他の政令市に比べ高い理由と問題の有無について伺いたい。

2 資産たな卸しと保有土地売却事業について

（1）資産たな卸しの25年度までの取組内容と成果について伺いたい。

（2）資産たな卸しの26年度以降の取組について伺いたい。

（3）金沢八景東口の市有地を単独随意契約で売却した根拠について伺いたい。

（4）保有土地売却事業の予算内容と予算増額理由について伺いたい。

（5）今後の広報・広告活動の考え方について伺いたい。

## 7 大 桑 正 貴 委員（みんな）

### 1 外郭団体等の駐車場用地の見直しについて

- (1) 見直しの対象となった団体数と駐車場数、及び見直しの内容について伺いたい。
  - (2) 見直しの手順について伺いたい。
  - (3) 3か所の無償貸付を継続することにした考え方について伺いたい。
  - (4) 見直し効果額900万円の算出の考え方について伺いたい。
- (要望) 外郭団体等については様々な形で支援が行われている。市有地等の貸付も財政支援の一つと捉えているので、時代に即した見直しを引き続き進めていくよう要望する。

### 2 設計業務における最低制限価格について

- (1) 設計業務の入札の状況について伺いたい。
  - (2) 設計業務の入札に最低制限価格を導入する効果について伺いたい。
- (要望) 引き続き関係者の声も聞きながら、実施状況を確認することを要望する。